

第4回総合戦略審議会 主な意見・質問

参考

No	意見 質問	意見・質問要旨	回答内容
1	意見	東京オリンピックに向けて、国が世界標準の食材に関する取組を検討している。世界標準に合わせるとなれば、学校給食等にも関わる問題であることから、市も国の動向を見守るだけでなく研究をしていってほしい。	食の問題は重要なことであり、市としても国の動向を注視していく必要があると考える。
2	意見	相談があるのを待つだけでなく、母子手帳交付の際などを利用して、問題を抱える妊産婦を把握できる体制があった方がよい。	妊産婦のサポートは重要であると考えている。 プロジェクト『すくすくかわごえ』の関連施策『産前・産後サポート事業』との関連も含め、今後の市の施策を検討する上での貴重なご意見として承る。
3	意見	100歳を超えた高齢者でも、筋肉を鍛えれば脳が活性化するという報告がある。高齢者の筋肉を鍛えることは転倒防止にもつながることであり、こういったことも研究していってほしい。	高齢者が健康な生活が送れるよう、川越市総合計画で掲げる『高齢者福祉の推進』の中で、介護予防としての健康体操を想定しており、具体的な事業展開の中で検討していきたい。
4	意見	パイロットの年齢制限が緩和されて、どんどん上がっている。車の運転についても一律に年齢制限をかけるのではなく、しっかり検査をした上で能力があれば認めるというような方針が出せればよい。	
5	意見	定年後に就労意欲があっても、仕事で要求される技能と職務経験が合致しないことがある。高齢者が社会に貢献できるよう技能習得をサポートする考えがあってよい。	高齢者の能力を活かすという視点について、戦略3の記載の中で『高齢者が培ってきた貴重な経験を活かして、魅力あるまちづくりにつなげていくとともに、若者が受け継ぎ、活性化させていくことが重要』の文言を追加した。
6	意見	戦略3の『川越を活かす 地域の価値を高め、魅力のあるまちをつくる』の記載の中に、「高齢者の経験を活かして魅力あるまちづくりに貢献してもらう、若者にも活かしてもらう」といった内容の表現が入ればよい。	

第4回総合戦略審議会 主な意見・質問

No	意見 質問	意見・質問要旨	回答内容
7	意見	最近の若者は社会貢献度の高い企業に魅力を感じるようになってきている。そういった企業を支援したり、若者に周知する取組があっても良い。	プロジェクト『しごと暮らし川越』において、若者に対する情報提供支援を位置付けており、社会貢献度の高い企業など地元企業の魅力を伝えていきたい。
8	意見	かつて、ものづくりの場は工場だったが、インターネットの普及によって田舎でも仕事ができる時代になっている。川越でもインターネットを促進して海外に販路を広げる考えがあっても良い。	プロジェクト『しごと暮らし川越』に位置付けた取り組みの中で、電子商取引サイトの構築やマッチングの機会の提供等を行い、海外を含めた販路拡大を支援していくことを考えている。
9	意見	今の若者はインターネットをうまく使いこなしている。これが地方でも根付いて来れば都市間の差もなくなる。そういった視点も総合戦略に加えて欲しい。	戦略1の記載の中で『情報通信技術の普及によって都市間の格差にとらわれない働き方が生まれています』との文言を追加した。

第4回総合戦略審議会 主な意見・質問（会議の中で回答した内容）

No	意見 質問	意見・質問要旨	回答内容
1	意見	プロジェクトの『すくすくかわごえ』の関連施策である『地域における保育環境等の充実』には「人形劇等の観劇会」という記載があるが、人形劇に限定するのではなく、良質なものを提供して欲しい。	観劇以外にも含めて、良質なものを提供できるよう検討していきたい。
2	意見	駅周辺に整備する子育て安心施設の中には、幼児図書を扱う幼児図書館の機能もあった方が良い。	親子が集まる場所に幼児図書スペースを設けるということも考えられる。子育て安心施設を整備する中で、親子が交流する場について検討していきたい。
3	意見	子育て世代や若者支援も良いが、高齢者に対する考え方も総合戦略にあった方が良い。	プロジェクト5の『すくすくかわごえ』の中には高齢者を対象とした地域包括支援センターの他、健康教育・健康相談の機能も想定している。高齢者も利用する形態を想定しており、詳細は今後検討したい。
4	意見	正社員であっても劣悪な労働条件の会社がある。若者が働くにあたり、「川越には労働条件が劣悪な職場はない、良好な労働環境である」ということを目指す視点があっても良い。	プロジェクト3『しごと暮らし川越』の施策に取り組む中で、一定の要件に合致した市内事業者等を表彰することを想定している。こういった取組により、市内企業のイメージを上げることが出来ると思う。
5	質問	総合戦略の実効性をどう担保するのか。年度計画や予算措置など具体的なものを作っていく予定があるのか。	総合戦略を進める際は、総合計画のもとで三箇年の実施計画を作成し、予算措置を行うことになる。
6	意見	総合戦略では若者を呼び込むことをうたっているが、若者の状態もさまざまである。引きこもりや非正規労働への対策を考えないと、若者の未来につながっていかない。	総合戦略では若者の就業に向けた取組を進めることとしている。さまざまな状態にある求職者に対応した就労支援については、第四次川越市総合計画に位置付けた施策で取り組んで行く。